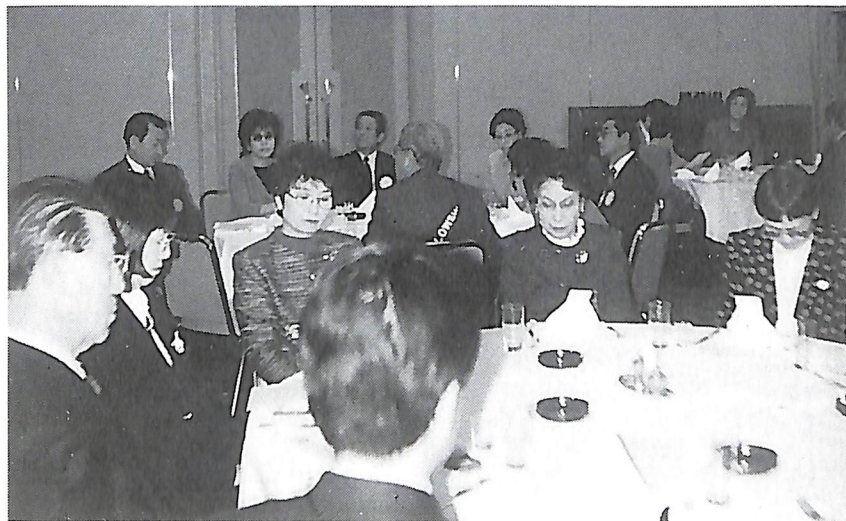


この他、青少年と放送に関する調査を推薦する事、問題点を検討する第3者機関を設置する事が求められています。

去年6月に民間放送連盟の指示を受けた民放各局は昨秋10月の改編時期から様々な対応を取り始めましたが、スタートしたばかりでまだ不十分です。

テレビ局側が視聴者側に歩み寄ろうという初めての試みですので、皆さんの御意見を各放送者の視聴者相談室などにお寄せいただければ有難く思います。



合同交流会

(会報担当者:佐々木公和 委員長)

◎ 出席報告

会員数	56名	出席率	函館北	2月23日	77.36%
出席	27名		函館東	2月22日	83.13%
欠席	29名		函館	2月17日	81.63%
他クラブ出席	14名		函館五稜郭	2月18日	97.30%
出席合計	41名		函館亀田	2月21日	85.42%
除外者	3名				

・ テレフォンサービス(例会移動案内)電話 23 - 2377 番

次回・3月22日	「絵手紙の話」
プログラム	北出喜代彦氏



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

1999~2000年度 国際ロータリーテーマ

**ロータリー2000:** ROTARY2000:ACT WITH  
**活動は一堅実** CONSISTENCY, CREDIBILITY,  
**信望・持続** CONTINUITY

小池 凌一 会長テーマ 『友 愛』



3月8日合同例会 講演 高野 義雄 会員

## 《第1767回例会》 第33号 3月15日(水)

本日のプログラム

「BSデジタル放送」

NHK函館放送局長 園村 卓弥 氏

★会長 小池 凌一 ★幹事 阿相 義則

例会場:函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日:毎週水曜日 12:30~13:30 事務局:函館市大手町5-10 二子ロビル4F TEL23-3870

1999～2000 〈第1766回例会〉第32号

## 3月8日の記録

◎司 会 小池 凌一 会長 ◎斉 唱 奉仕の理想

◎会長報告 小池 凌一 会長  
特にありません。◎幹事報告 阿相 義則 幹事  
3月24日(金)函館五稜郭R.C.は夜間例会に変更です。◎親睦活動委員会 小笠原 孝 委員長  
ニコニコBOX投入報告森 会員・新 会員・小池会長・中川会員・薮下会員・小笠原会員・  
緒方会員・千葉会員・田畑会員・竹谷会員・野田会員・阿相幹事・瀬川会員  
高野会員・西尾会員・今井会員・成瀬会員・増田会員・大村会員・藤田会員  
佐々木会員・北村会員・山崎会員・椎谷会員  
……今日のソロプチミスト函館との交流会楽しく。国際ソロプチミスト函館・函館北ロータリークラブ  
合同交流会 プログラム日 時 平成12年3月8日(水) 18:10～ (敬称略)  
場 所 函館国際ホテル司会 国際ソロプチミスト函館  
経済的社会的開発委員長 斎藤 光子

第一部 講演会 18:10～18:50

講師紹介 国際ソロプチミスト函館  
経済的社会的開発委員長 斎藤 光子講 師 札幌テレビ放送(株)函館放送局長  
函館北ロータリークラブ 高野 義雄 氏  
テーマ『青少年と放送』謝 辞 国際ソロプチミスト函館  
会長エレクト 石崎美奈子

第二部 懇親会 19:00～20:30

司会 函館北ロータリークラブ  
親睦活動委員長 小笠原 孝

挨拶 函館北ロータリークラブ会長 小池 凌一

祝 杯 国際ソロプチミスト函館会長 渡辺佐岐子

余 興 ① ビンゴゲーム  
② ダーツゲーム(テーブル対抗)乾 杯 R I 第2510地区  
第11分区代理 森 秀樹ロータリーソング「手に手つないで」  
ソロプチミスト シンフォニー

終 了

◎講演 「青少年と放送」 講師：札幌テレビ放送(株)函館放送局長

函館北ロータリークラブ 高野 義雄 氏

今やテレビは一家に1台の時代から1人に1台、子供達それぞれの部屋にある  
ようになりました。青少年が好んで見るのは、どういう番組でしょうか。そしてどのような影響を  
受けているのでしょうか。文部省が一昨年5月から「青少年と放送の関係」についての調査研究会を発足  
させ問題点を検討してきました。その背景としては、ここ数年、神戸で起きた小学生の首が切り落される事件を  
はじめ青少年による殺人などの凶悪事件が続発した事。そしてこれはテレビにおけ  
る暴力シーンの影響が大きいのではないかと世の中から指摘された事にあります。文部省の指示を受けたNHK・民放などの放送事業者がテレビの影響を受けや  
すい青少年に対して、何が出来るか、何をなすべきか検討した結果、99年6月、  
NHK・民放それぞれが6つの対応策をまとめました。その1つ目が青少年向けの放送番組を充実させることで、子供達が好んで見る  
番組の中で、知識や理解力を高め情操を豊かにする番組を週3時間以上放送する  
事です。2つ目として、メディア・リテラシーを向上させる事です。子供達にテレビと  
いうメディアを知ってもらい番組内容を的確に理解・判断する能力を向上させる  
ために、学校や家庭での教材として使える番組を制作し、放送する事です。この  
件については既にいくつかの放送局が番組を制作していて、STVでも今月25  
日の土曜日に小学校高学年を対象に「公開STVテレビ教室」というタイトルの  
番組を午後1時から生放送することになっています。3番目に放送時間帯の配慮です。夕方から9時までの間に放送する番組につい  
ては、子供達が一番テレビに接する時間である事から、内容の点検を行う事にし  
ています。更に番組の情報提供の拡大も対応策の一つです。放送局がこの番組は子供に  
とって影響が強過ぎると判断した場合、事前にスーパーインポーズを流したり番  
組宣伝の時間に保護者に対して配慮が必要である旨、事前告知するようにと指示  
しています。